

風水害・土砂災害に備えて

●風水害に備える

家の周りを点検する



屋根やアンテナなど、日常から点検や補強をしましょう

気象情報に注意する



テレビやラジオの気象情報に注意し、最新の情報を入手しましょう

危険なものは片づける



家の周りで飛ばされる恐れがあるものは、室内へ入れましょう

川や水路に近づかない



急な増水やはん濇する場合があるので川や水路に近づかないようにしましょう

●風水害が発生したら

声掛け・助け合い



近所のお年寄りへの声掛けや助け合って避難しましょう

集団で行動する



一人での避難行動は危険です。避難はなるべく集団で行動しましょう

側溝や水路に注意する



浸水した道を通る場合は水路や側溝など道路から落ちないように注意しましょう

逃げ遅れたら



浸水時の移動は大変危険です。水深がひざほどまでである場合は高所に避難し救助を待ちましょう

●土砂災害の種類と前兆

※土砂災害の発生が想定される危険箇所は、防災マップ（全域版）に掲載されています。

種類としくみ

土石流



斜面にたまった多量の石や土砂が、大雨などの時に一気に流れ下る現象。

地すべり



比較的なだらかな斜面で起きやすく、大雨などによる地下水の影響で斜面の一部もしくは全体がゆっくり滑り落ちる現象。

がけ崩れ



大雨などによる地中にしみ込んだ水で土の抵抗力が弱まり、がけや斜面が突然崩れ落ちる現象。

前兆



- 山鳴りが聞こえる。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。



- 斜面や地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が吹き出す。
- がけに亀裂が入る。
- 小石が落ちてくる。
- がけからの水が濁る。

●雨の強さと危険度

雨の強さ	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方の様子	ザーザーと降り、地面一面に水たまりが出来る	どしゃ降り、傘をさしてもぬれてしまうワイパーを速くしても見づらい	バケツをひっくり返したような雨	滝のように降り、傘が全く役に立たなく、先が見えない車の運転は危険	息苦しくなるような圧迫感がある
災害の危険性	長く続くときは、注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まります。	道路が川のようになり、山崩れや崖崩れが発生しやすくなります。	マンホールから水が噴出したり、土石流などの災害が発生する可能性が高くなります。	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要です。

気象庁 HP http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/amehyo.html 雨の強さと降り方 参照

●風の強さと危険度

風速	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風速	10～15m/s	15～20m/s	20～30m/s	30m/s以上
人への影響	風に向かって歩みにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていなくて立っている。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。
危険性	樹木全体や電線が揺れ始めます。	電線が鳴り始め、看板やトタン板が外れるおそれがあります。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始めます。看板が落下・飛散や道路標識が傾く場合があります。	多くの樹木が倒れ、電柱や街灯も倒れるものがあります。ブロック壁で倒壊するものもあります。

●河川の増水による危険度レベル

